

石垣港

石垣市建設部港湾課

〒907-0013 石垣市浜崎町3-4

☎0980-82-4046



1. 概況

石垣港は、沖縄本島から南西に約410km以西に広がる八重山群島の東端、エメラルドグリーンの海に囲まれた石垣島に位置する日本最南端の重要港湾として、日本本土、沖縄本島との交流はもとより、台湾をはじめ諸外国と八重山圏を結ぶとともに、八重山群島の各離島への連絡基地である。更に最近4万トン級外航クルージング船の定期就航もあり八重山観光の拠点港として、八重山経済圏に重要な役割を果たしている。

当港は明治29年に海運会社の出張所が設置されて以来、近代的な港湾への整備が進められ、大正13年には木造栈橋が完成、同年12月30日八重山栈橋株式会社が設立され営業を開始した。しかし、地域の発展に大きな役割を果たした栈橋は昭和8年9月に襲来した石垣島台風によって被災し復旧の見通しすらたない状態となった。

昭和33年米政府による石垣港新設のため基本調査が実施され、翌年琉球政府の招聘による工学博士後藤憲一（元運輸省港湾局長）の港湾計画の指導を得て、昭和35年本格的な港湾施設の建設に着手、昭和40年には2,000トン級の船舶が接岸できる本格的な港湾となった。

昭和47年の本土復帰と同時に港湾法に基づく重要港湾に指定されるとともに、同年より第4次港湾整備5カ年計画に組み込まれ整備が進められるようになった。その後、石垣港の港湾整備は昭和49年6月の港湾審議会第3回計画部会、昭和54年11月第88回部会、昭和60年8月第110回部会、平成8年11月第161回部会の議を経た港湾計画に基づき進められており、第4～第9次港湾整備計画によって、外郭施設は防波堤（南）、防波堤（西）、沖防波堤（南）、沖防波堤（西）、係留施設は物揚場1,625m、岸壁（-4.5m）1バース、（-5.0m）3バース、（-6.0m）1バース、（-7.5m）4バース、（-9.0m）2バース、水域施設は-7.5m、-9.0m、-10m航路の整備が進められるとともに、埠頭用地、港湾関連施設用地造成が行われ、現在1万トン以上の船舶が利用可能な大型港湾となっている。